

単純ヘルペス特異抗原 (F A)

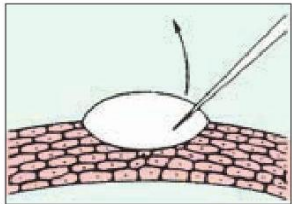
水痘・帯状ヘルペス—DNA

水痘・帯状ヘルペス特異抗原 (F A)

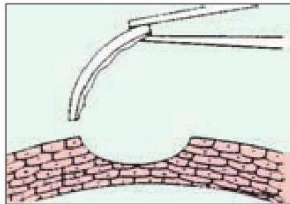
- 1) 早期の水疱病巣が検体として最適です。
- 2) 水疱内容液は適しません。
- 3) ウイルス感染細胞は病巣基底部にありますので、強くぬぐい、基底部の細胞を採取します。
- 4) 膿がでている場合は、病巣基底部をかき乱さないように注意し、綿棒でまず膿をぬぐい去り、別の綿棒で検体を採取してください。

I. 水疱の場合

小水疱、膿疱、痂皮



針を挿入し、上部の皮あるいは痂皮を剥します。



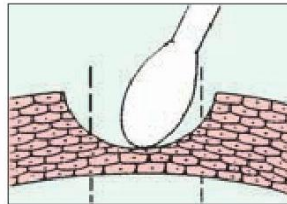
ピンセットで、剥した皮を除去します。



II. 水疱でない場合

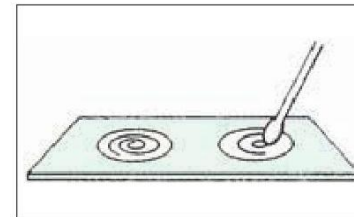


基底部細胞の採取



ポリエステル綿棒を生理食塩水や精製水で軽く湿らせ、病巣基底部全面を綿棒で強くぬぐいます。

《塗抹》



スライドガラスの2つのウェルに内側から円を描くようにこすらず、軽く叩くように塗抹してください。この際綿棒に付着している検体全てが、塗抹されるよう綿棒を少しずつ回転させ、ウェルからはみ出さないように塗抹してください。



風 乾

操作中検体をはがれ落ちる原因となりますので完全に乾燥させてください。ドライヤーの冷風で乾燥させることも可能です。

※アセトン固定

検体の塗布してあるウェルにアセトンを滴下して固定し、蒸発させます。